

令和6年7月30日
県土整備部港湾課
043-223-3838

千葉港におけるアカカミアリの確認について

7月26日に千葉港千葉中央地区において、環境省が毎年実施している定期的な全国港湾調査を実施したところ、千葉港コンテナターミナルで、ヒアリ類と疑わしい個体が発見されました。

その後、この個体について専門家による種の同定を行った結果、7月29日に要緊急対処特定外来生物であるアカカミアリと確認されましたのでお知らせします。

県では、環境省と協力してトラップによる調査を継続するとともに、千葉港保安委員会等を通じて港湾関係者に対し注意喚起をしていきます。

1 経緯

7月26日、環境省が実施する全国港湾調査の千葉港千葉中央地区での調査において、調査事業者が千葉港コンテナターミナルで、ヒアリ類と疑わしい個体を発見しました。このため、同者が発見箇所及びその付近に殺虫エサ（ベイト剤）を設置し、環境省が専門家に同定を依頼しました。

7月29日、専門家による種の同定を行った結果、アカカミアリであることが確認されました。

2 今回確認されたアリについて

確認されたアリは、アカカミアリの働きアリ約10個体です。

3 今後の対応について

県では、環境省と協力してトラップによる調査及び防除を継続するとともに、港湾関係者に対し、千葉港保安委員会等を通じて注意喚起を行います。

4 その他

本件に関する現場での取材は、港湾関係者の事業活動等へ影響を及ぼすおそれがあることから厳に慎むようお願いします。

○今回確認されたアカカミアリ



写真：環境省提供

○今回アカカミアリが発見された場所



出典：ちば情報マップ

(参考) アカカミアリについて〔環境省資料より抜粋〕

1. 生態について

- 原産地：アメリカ合衆国南部～中米
- 日本での生息状況：硫黄島に定着。その他沖縄県等で確認記録がある。
- 亜熱帯地域の裸地や草地などの開けた環境に生息し、土中に営巣する。雑食性で、甘露や植物の種などを餌とする。水に浮んで集団で移動するなど拡散の能力が高い。

2. 懸念される影響

- (1) 生態系に関わる被害：攻撃的で高い採餌能力を持ち、他の小型節足動物などを捕食し、在来の生物多様性を減少させることが知られている。硫黄島においては他のアリ類を駆逐し最優占種となっている。
- (2) 人体に関わる被害：刺されると、アルカロイド系の毒によって非常に激しい痛みを覚え、水疱状に腫れる。ヒアリに比べると毒は弱いといわれている。

○要緊急対処特定外来生物ヒアリ類一般に関する問合せは、環境生活部自然保護課生物多様性センターへお願いします。(TEL：043-265-3601)